

SSKS

2023. 8月号

No. 553

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



家族向け法人事業説明会を開催しました



「コロナ」前はより身近な事業所・職員と懇親を深めていただきたいという思いがあり、当法人では各事業所単位での家族懇談会を重視してまいりました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことや、法人組織も大きく変わろうとしている節目であることから、法人内事業所をご利用いただいている保護者・家族を対象とした説明会を7月18日(火)に開催しました。

105名の参加希望をいただいた説明会（会場参加・オンデマンド視聴）では、あらためて武蔵野千川福祉会の現状を共有させていただくとともに、利用者・家族・職員がともに前へ進んでいくことを確認する機会となりました。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



お伝えします…法人の現状と展望

～家族向け法人事業説明会～

15年ぶりの開催となった「家族向け法人事業説明会」では、法人事業の現状と展望をお伝えする機会を通じて、ご家族との信頼関係の構築と法人のとりくみに対する理解を深めていただくとともに、将来のイメージを持っていただくことを目的としました。

法人の動向について

まずは、理事長の菅野より理事会の体制変更について、組織体制の見直しを進めていること、利用者の福祉的支援の充実を図るために「相談支援部」を創設するとともに、時代の変化に合わせて生産活動を提供するために「営業部」を創設したこと、事業を推進していくために職員育成についての学習会を進め、事業方針や事業内容を展開していくとりくみなどを説明しました(図①)。

また、5年後、10年後も利用していただくために、令和5年度から令和9年度の5カ年を期間とした中長期計画の策定に向けてとりくんでいることをご家族に伝えました。計画を立てるだけでなく、魅力ある法人にしていくために常に計画の進捗を確認し、とりくみを続けることの大切さを共有しました。

続いて常務理事の唐澤より法人の特徴について理念に基づき、利用者支援(図②)、事業所運営(図③)それぞれについて大切にしていること、利用者の大人としての育ちを大切に、一人ひとりの利用者が持っている力を活かせる事業所(機能分化)で最大限の力を発揮できるように支援していくことを共有しました。

また、運営、財務といった経営状況を説明するとともに、安定した法人運営を行っていることをお伝えすることで、ご家族の安心につながったと捉えています。

法人組織発展の取り組み (図①)	1. 利用者支援において大切にしていること (図②)	2. 事業所において大切にしていること (図③)
<p>相談支援部の創設</p> <p>相談機能の充実 アセスメント⇒個別支援計画作成を主導</p> <p>営業部の創設</p> <p>営業活動の統合化 受注の集約化 法人内での分業化</p>	<p>大切にしていること</p> <p>(1) 利用者の <small>人権、生活を守り発展させます</small> 人間としての育ちを大切に、人間性を尊重した支援をします。 ①できることは(いつも・続けて)自分でできるように。 ②(自立生活に必要な)規律を重んじ、守ることができるように。</p> <p>(2) 利用者の <small>労働、生活を守り発展させます</small> (人や学び、仕事、暮らしに向う)態度の育成を目指した支援をします。 ①安定して(かかわる、まなぶ、はたらく、くらす)に)取り組めるように。 ②(かかわる、まなぶ、はたらく、くらす)で)できることが増えるように。</p>	<p>大切にしていること</p> <p>(1) 利用者の方々の <small>人権、生活を守り発展させます</small> 取り組みがしっかり還る支援をします。 ①取り組みに対して適時・適切にフィードバックを与え、自身でも振り返りができるようにしています。 <small>就労継続支援事業所では工賃に反映しています</small></p> <p>(2) 利用者の方々が <small>労働、生活を守り発展させます</small> 自身の持っている力を活かせる事業所で最大限の力を発揮できるよう支援します ①利用者のニーズに応じた多様なサービスを準備しています。 <small>法人事業所では機能分化を図っています</small> ②提供する活動・作業は、法人として標準化を図っています。</p>

各事業の展望～各事業の中長期計画

各事業では、これまで分野別の研修を積み重ねてきました。その中で、利用者支援で大切にしていることを確認しつつ、実践を進めています。また、各事業の中長期計画(図④)について今後5年、10年をかけてとりくんでいく目標を掲げるとともに、各事業における『今後のとりくみ』について説明しました。以下、抜粋した内容を紹介합니다。

Ⅲ. 事業推進の重点的取り組み (図④)

2. 各事業における中期計画の作成

- 就労継続支援B型・就労移行支援事業…「働く力」を伸ばす具体的な支援づくり
- 生活介護事業…選ばれる日課プログラムづくり
- 地域生活支援事業…地域で暮らし続けるための仕組みづくり
- 幼児・児童支援事業…幼児期・学齢期・成人期をつなげる特徴づくり
- 相談支援事業…利用者の要求に応えることのできる質の高い相談支援体制づくり

【就労継続支援B型事業】＝「働く力」を伸ばす具体的な支援づくり

B型事業所で大切にしていること

- ・はたらくことが生活の柱になるように支援します
 - 作業を通じて、「できること」を増やします
 - 役割を通じて、はたらくことに意欲や自信がもてるようにします
- ・個性を大切にした支援を行います
 - アセスメントを活用し、一人ひとりに合った支援を行います
 - 一人ひとりが活躍できる場面や役割をつくります
- ・地域で生活するうえで必要な知識や人との関わりを支援します
 - やり取りを通して、他者との関わりを学び、支援をします
 - 挨拶、言葉づかい、ルールやマナーを大切にします

- ・安心、安定してはたらき続けることができるように、はたらきやすい環境を常に提供できるようにします。
- ・生産活動を集団の中での役割を通して、利用者一人ひとりが力を発揮し、活躍できる支援を行います。
- ・安定した生産活動を提供できるよう、新たな作業種の開拓も行います。

【生活介護事業】＝選ばれる日課プログラムづくり

生活介護事業所で大切にしていること

- ・利用者が安定して過ごすことができる
 - ADL面での支援を行い、生活リズムを整える
 - 様々な活動を通して、はたらきかけることで心身の健康を維持する
- ・利用者が職員のはたらきかけに応じることができる
 - 職員が利用者に向かってかかわる
 - 安心できる関係の中で、やりとりができるようにする
- ・利用者が活動に参加し、取り組むことができる
 - できる喜びを感じ、興味関心の幅を広げる
 - 活動を通して、達成感をえる経験を積む
 - 活動に参加し、楽しみや自信、生活の充実を目指す

- ・利用者が「楽しい」、「またやりたい」、「明日も行きたい」と思える活動プログラムを構築していきます。
- ・生活介護における生産活動のあり方をおさえ、他の諸活動を学び充実を図ります。

【地域生活支援事業】＝地域で暮らし続けるためのしくみづくり

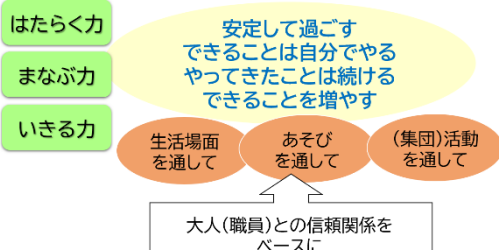
グループホームで大切にしていること

- (1) ぐらす力の維持・向上をめざした支援をします
- ・安定して日課にとりくむことができるように。
 - ・できることは自分でできるように。
 - ADL面（移動、排泄、食事、更衣、洗面、入浴など）の支援を基本として、生活リズムを整え、健康的な生活を送る
 - 日課を通して、はたらきかけることでADL面（買い物、家事、外出、服薬管理、金銭管理など）の支援を進め、できることは自分でとりくむ
- (2) 大人としての育ちを大切にします。
 - ・できることを増やせるように。
 - ・ルール・マナーを守ることができるように。
 - できる喜びを感じ、興味関心の幅を広げることで、さらにできることを増やす
 - 共同生活において、役割を担ったり、楽しむ機会を経験する中で地域でぐらすうえで必要なルールやマナーを身につける

- ・グループホームから地域への自立生活体験を進め、新たな形で職員が支援しながら地域での生活を送ることができるようにします。
- ・高齢になっても、グループホームで暮らし続けることができるように、とりくみを進めます。

【幼児・児童支援事業】＝幼児期・学齢期・成人期をつなげる特徴づくり

大切にしていること(幼児・児童支援共通)



- ・さまざまな経験ができるように、活動メニューを豊富に様々な活動を提供できるようにします。
- ・「できた」「わかった」が経験できる活動を展開します。
- ・地域の幼稚園、進学する学校、所属している学校、同事業を行っている他事業所、関係機関との連携を密にしていきます。

利用者の生き生きとした地域生活を実現できる、魅力ある法人をつくるためには、組織体制を整えるだけではなく常に計画を見直し、実現させていくことが重要であると考えています。そのために、法人全体が同じ方向性で、一体感を持って運営していくように各事業部で標準化を進めていきます。

今回の説明会では、多くの保護者、家族に参加いただきました。次回に向けて課題を振り返り、また当法人のとりくみを理解していただく機会として、定期的に共有できる場を開催していきたいと考えております。

(文責：金田 大志)



暑中お見舞い申し上げます

梅雨が明け、いよいよ本格的な夏の到来となりました。
毎日のように厳しい暑さが続いています。いかがお過ごしでしょうか。各事業所では引き続き感染対策と熱中症対策をしながらこの夏を乗り切りたいと思います。
今年は4年ぶりに宿泊行事を再開するため、しっかりと準備を進めています。
みなさま健康に気をつけて有意義な夏をお過ごしください。

【おしらせ】

8月9日（水）～16日（水）は、通所事業は夏季休業といたします。
（千川さくらんぼクラブを除く）どうぞよろしくお願ひ致します。



【とびくす】～インスタだより vol.1～#千川地域夏まつり



4年ぶりに法人として出店した“千川地域夏まつり”では、たくさんの方に訪れていただきました。

今回は焼きおにぎりや焼き餃子の模擬店として参加。

大阪の(社)福ひびき福祉会様から1,000個仕入れた『バカ美味ぎょうざ』…たくさん用意したつもりでしたが、なんと19時前には完売御礼！和太鼓や盆踊りなど、夏祭りは大盛況！最後は花火でフィナーレとなりました。

来年は7月20日に開催予定です。お楽しみに！！



今月の動向 ～令和5年7月～

- 5日(水) (職員研修)生活介護学習会
- 9日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
- 11日(火) (職員研修)生活支援学習会、常任理事会
- 12日(水) (職員研修)児童発達支援学習会、B型事業所学習会
- 18日(火) 家族向け法人事業説明会
- 19日(水) 所長会議
- 20日(木) 初級職員研修
- 22日(土) 千川地域夏まつり出店
- 26日(水) 常任理事会
- 31日(月) 武蔵野市地域自立支援協議会職員出席

コロナ禍があけて

千川地域夏祭りでは、楽しそうに笑い合う様子を見ました。そんなあたりまえのことに懐かしさと愛おしさを感じる瞬間がありました。なんでもオンラインで便利になりましたが、楽しみを直接共有することは良いものだと感じました。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>